

## 授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I		指導担当者名	佐藤日和、松岡純代
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等			
使用教材	動画教材 SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	2-2 職種と業種の違いが分かるように *志望動機は飛ばします	
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分自身を知る 自分史の作成 1	3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す	
	10	自分自身を知る 自分史の作成 2	3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分自身を知る 自分史の作成 3	3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分自身を知る 自分史の作成 4	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る	
	13	自分自身を知る 自分史の作成 5	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	期末試験(一般常識など)	自己PRの確認は必須 時間があれば一般常識など	
	15			
	16			
履修上の留意点 *適宜一般教養の問題集も使ってテストをしてください。特に各期末試験で必ず入れてください。 *途中で就職研修が入ります。その時まで履歴書を書けるようにしておきましょう。 *各学科、各学生の様子を見ながら弾力的に進めてもらって結構です。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	就職実務 I	指導担当者名	佐藤日和、松岡純代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備		
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等		
使用教材	動画教材 SUCCESS		
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、 また、封筒の書き方、その他の書類 (事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。 *履歴書の完成
	4	作成書類 2	
	5	作成書類 3	
	6	企業訪問	5-1.5-2 準備、当日、事後の指導をしてください
	7	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室
	8	就職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1
	9	就職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2
	10	筆記試験対策 1	5-5.5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)
	12	期末試験(一般常識など)	履歴書、入退室の確認は必須 時間があれば一般常識など
	13	期末試験振り返り	
	14	年間振り返り	
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない *適宜一般教養の問題集も使ってテストをしてください。特に各期末試験で必ず入れてください。 *途中で就職研修が入ります。その時まで履歴書を書けるようにしておきましょう。 *各学科、各学生の様子を見ながら弾力的に進めてもらって結構です。			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ドローイング I	指導担当者名	佐藤 望
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	基礎的な描写力、観察力の向上を目指す。また、創意工夫する力も養い、今後の作品制作に活かせる姿勢を身につけさせる。		
評価方法 評価基準	課題提出、授業態度、出席		
使用教材	筆記用具、絵画用品(色鉛筆、クロッキー帳、スケッチブック、アクリル絵の具)		
授業外学習 の方法	画材についての下調べとその復習と応用を考える		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	ルールの説明
	2	デッサンの基礎	簡単な立体を描く
	3	デッサンの基礎	簡単な立体を描く
	4	色鉛筆	色鉛筆の使い方の習得、描写力の向上
	5	色鉛筆	色鉛筆の使い方の習得、描写力の向上
	6	色鉛筆	色鉛筆の使い方の習得、描写力の向上
	7	ネイルデザイン	ネイルポリッシュ、ネイルチップ
	8	ネイルデザイン	ネイルポリッシュ、ネイルチップ
	9	ネイルデザイン	ネイルポリッシュ、ネイルチップ
	10	期末課題	アクリル絵の具、スケッチブック
	11	期末課題	アクリル絵の具、スケッチブック
	12	期末課題	アクリル絵の具、スケッチブック
	13	講評会	
	14	前期振り返り	
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ドローイング I		指導担当者名	佐藤 望
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	基礎的な描写力、観察力の向上を目指す。また、創意工夫する力も養い、今後の作品制作に活かせる姿勢を身につけさせる。			
評価方法 評価基準	課題提出、授業態度、出席			
使用教材	筆記用具、絵画用品(色鉛筆、クロッキー帳、スケッチブック、アクリル絵の具)			
授業外学習 の方法	画材についての下調べとその復習と応用を考える			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  後 期	1	アクリル絵の具①	描写力、創意工夫力の向上(紙、キャンバスへの着彩)	
	2	アクリル絵の具①	描写力、創意工夫力の向上(紙、キャンバスへの着彩②)	
	3	アクリル絵の具①	描写力、創意工夫力の向上(木材への着彩、ニスなどの保護剤使用について)	
	4	アクリル絵の具①	描写力、創意工夫力の向上(木材への着彩、ニスなどの保護剤使用について)	
	5	アクリル絵の具②	描写力、創意工夫力の向上(プラスチックへの着彩、下地、保護材の使用について)	
	6	アクリル絵の具②	描写力、創意工夫力の向上(プラスチックへの着彩、下地、保護材の使用について)	
	7	アクリル絵の具②	描写力、創意工夫力の向上(金属への着彩、下地、保護材の使用について)	
	8	アクリル絵の具②	描写力、創意工夫力の向上(金属への着彩、下地、保護材の使用について)	
	9	期末課題	色画用紙、ボンド、スチレンボード(それぞれの素材と表現法の違いを活かす)	
	10	期末課題	色画用紙、ボンド、スチレンボード(それぞれの素材と表現法の違いを活かす)	
	11	期末課題(中間発表)	色画用紙、ボンド、スチレンボード(それぞれの素材と表現法の違いを活かす)	
	12	期末課題	色画用紙、ボンド、スチレンボード(それぞれの素材と表現法の違いを活かす)	
	13	講評会		
	14	後期振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	著作権概論		指導担当者名	村山 隆
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	ビジネス著作権検定BASICの取得			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率・課題評価・授業態度・試験結果</li> <li>・上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する</li> </ul>			
使用教材	ビジネス著作権検定 ベーシックテキスト			
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	授業の流れ、模擬オーディション	
	2	試験概要説明	ビジネス著作権検定の試験概要、著作権を学習する前について	
	3	第1章 著作権とは何か	著作権とは何か	
	4	第2章 著作権で保護されるもの①	著作権で保護されるもの(1)(2)	
	5	第2章 著作権で保護されるもの②	著作権で保護されるもの(3)(4)	
	6	第2章 著作権で保護されるもの③	著作物該当性に関するその他の問題点、著作物の例示、特別な著作物	
	7	第3章 著作権は誰が持つ	著作者の定義、著作者の例外、著作者と著作権者	
	8	第4章 著作権の内容①	著作権の内容 人格権と財産権、著作者人格権(公表権、氏名表示権、同一性保持権、一身専属性)	
	9	第4章 著作権の内容②	財産権としての著作権、複製権、上映権、演奏権、上演権	
	10	第4章 著作権の内容③	公衆送信権、貸与権、譲渡権、頒布権、二次的著作物	
	11	著作権のトラブル	著作権が絡む事件・ニュースを調べる	
	12	第5章 著作権はいつまで保護される	著作権の始期、著作権の保護期間、国際的保護	
	13	著作権前期復習	前期学習内容の復習	
	14	期末試験	著作権概論 筆記試験	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	著作権概論		指導担当者名	村山 隆
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	ビジネス著作権検定BASICの取得			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率・課題評価・授業態度・試験結果</li> <li>・上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する</li> </ul>			
使用教材	ビジネス著作権検定 ベーシックテキスト			
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	期末試験振り返り	著作権の譲渡、利用許諾、契約	
	2	第7章 勝手に使える場合がある①	権利制限規定、私的使用関係①、②	
	3	第7章 勝手に使える場合がある②	付随的著作物、教育関係、図書館関係	
	4	第7章 勝手に使える場合がある③	非営利無償の上演・演奏等、貸与、引用関係	
	5	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度①	著作隣接権とは	
	6	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度②	著作隣接権者(実演家、レコード製作者)	
	7	第8章 著作物を伝達する者を保護する制度③	著作隣接権者(放送事業者、有線放送事業者)、著作隣接権の保護期間	
	8	第9章 勝手に使うとどうなるか①	著作権の侵害	
	9	第9章 勝手に使うとどうなるか②	みなし侵害、著作権侵害罪、民事的対策	
	10	第10章 著作権に関する制度	知的財産権、情報モラルと著作権	
	11	検定対策①	模擬問題	
	12	検定対策②	模擬問題	
	13	期末試験	模擬問題	
	14	期末試験振り返り	著作権検定の実施	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	Illustrator&Photoshop演習 I		指導担当者名	小濱 玲
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期ではサーティファイIllustratorクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す * 後期ではサーティファイPhotoshopクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す			
評価方法 評価基準	期末試験 中間試験 検定合格結果(参考)			
使用教材	Machintosh PC,IllustratorクイックマスターCC (Win/Mac) 対応,PhotoshopクイックマスターCC (Win/Mac) 対応			
授業外学習 の方法	・テキストを使っての事前予習 ・テキストを使っての実技練習			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画  前期	1	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基礎知識／インターフェース・ツール・パネル	
	2	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基礎知識／アートワーク・アートボード ナビゲーター・ガイド・環境設定	
	3	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作／オブジェクトの設定と描画	
	4	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作／編集操作(CP・前後関係・グループ化・移	
	5	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作／カラー設定・レイヤー オブジェクトの組み合わせ	
	6	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作／文字の作成・文字関連の機能	
	7	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの基本操作／パスの基本的な描画と編集	
	8	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの応用操作／線とアピアランス	
	9	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの応用操作／レイアウトの補助機能	
	10	Illustrator検定対策(スタンダード)	クイックマスターIllustratorの応用操作／グラデーション・スウォッチ・パター	
	11	過去問題	スタンダード模擬問題-1 解説	
	12	過去問題	スタンダード模擬問題-2 解説	
	13	前期期末試験		
	14	前期振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない デザイン性向上のためのアドバイス(指導)を行う。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	Illustrator&Photoshop演習 I		指導担当者名	小濱 玲
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期ではサーティファイIllustratorクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す * 後期ではサーティファイPhotoshopクリエイター能力認定試験スタンダード取得を目指す			
評価方法 評価基準	期末試験 中間試験 検定合格結果(参考)			
使用教材	Machintosh PC, IllustratorクイックマスターCC (Win/Mac) 対応, PhotoshopクイックマスターCC (Win/Mac) 対応			
授業外学習 の方法	・テキストを使つての事前予習 ・テキストを使つての実技練習			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業計画 後期	1	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基礎知識/インターフェース・ドキュメント ウィンドウ・ツール・パネル	
	2	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基礎知識/画面表示・色の選択・環境設定	
	3	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/選択ツール・範囲の読み込み	
	4	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/画像解像度とサイズトリミング	
	5	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/変形・カラーモード色調補正	
	6	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/ペイント・レタッチ・レイヤーの 操作	
	7	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの基本操作/パス・切抜・シェイプ・フィル ター・テキストの入力について	
	8	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの応用操作/コンテンツ制作・ロゴ制作/カ スタムシェイプ	
	9	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの応用操作/コンテンツ制作・フォトカード/ アクション	
	10	Photoshop検定対策(スタンダード)	クイックマスターPhotoshopの応用操作/Webページの制作	
	11	過去問題	スタンダード模擬問題-1 解説	
	12	過去問題	スタンダード模擬問題-2 解説	
	13	前期期末試験		
	14	前期振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない デザイン性向上のためのアドバイス(指導)を行う。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	HTML演習		指導担当者名	渡辺 朗
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経歴を持っている			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	HTML、基礎コードの理解と応用の習得			
評価方法 評価基準	授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う			
使用教材	Machintosh PC, 改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス			
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  前期	1	HTMLの基礎知識	HTMLの理解	
	2	HTMLの基礎知識	基礎タグ演習	
	3	HTMLの基礎知識	埋込タグ演習	
	4	HTMLの基礎知識	埋込タグ演習	
	5	HTMLの基礎知識	装飾タグ演習	
	6	HTMLの基礎知識	FRAMEタグ演習	
	7	サイト制作:グループでのサイト構築	指定されたカテゴリーに基づき、サイト内容を決定	
	8	サイト制作:グループでのサイト構築	ワイヤーフレームを作成	
	9	サイト制作:グループでのサイト構築	素材を収集・作成	
	10	サイト制作:グループでのサイト構築	素材を収集・作成	
	11	サイト制作:グループでのサイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	12	サイト制作:グループでのサイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	13	制作発表		
	14	前期振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	HTML演習		指導担当者名	渡辺 朗
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経験を持っている			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	HTML、基礎コードの理解と応用の習得			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う			
使用教材	Machintosh PC, 改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス			
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  後 期	1	HTMLの基礎知識	metaタグ演習	
	2	HTMLの基礎知識	metaタグ演習	
	3	HTMLの基礎知識	テーブルタグ演習	
	4	HTMLの基礎知識	テーブルタグ演習	
	5	HTMLの基礎知識	テーブルタグ演習	
	6	自主サイト制作	指定されたカテゴリに基づき、サイト内容を決定	
	7	自主サイト制作	ワイヤーフレームを作成	
	8	自主サイト制作	素材を収集・作成	
	9	自主サイト制作	素材を収集・作成	
	10	自主サイト制作	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	11	自主サイト制作	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	12	後期期末試験		
	13	後期の振り返り		
	14	年間の講評		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	Webデザイン演習 I		指導担当者名	渡辺 朗	
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経験を持っている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	WEBコンテンツの理解と習得				
評価方法 評価基準	授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う				
使用教材	Machintosh PC、改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス				
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	PCスベック解説:ハード	HDD、メモリ、ディスプレイサイズ等を理解する		
	2	PCスベック解説:解像度	設定解像度と画像作成について		
	3	PCスベック解説:ソフトOS関連	PCバンドルソフト機能解説		
	4	PCスベック解説:ソフトエディター関連	エディター又は専門ソフト解説		
	5	インターネット創世解説	インターネット誕生沿革の説明		
	6	ブラウザベンダー解説	ブラウザベンダーの解説		
	7	ブラウザベンダー:スマートフォン解説	ブラウザベンダーの解説		
	8	WEBコンテンツレイアウト旧式解説	4:3比率でのレイアウト解説		
	9	WEBコンテンツレイアウト最新解説	16:9比率でのレイアウト解説		
	10	WEBレイアウト作成	編集ソフトにて画像でのWEBレイアウト作成		
	11	WEBレイアウト作成	編集ソフトにて画像でのWEBレイアウト作成		
	12	WEBレイアウト作成	編集ソフトにて画像でのWEBレイアウト作成		
	13	前期期末試験			
	14	前期振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	Webデザイン演習 I	指導担当者名	渡辺 朗
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経験を持っている		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	WEBコンテンツの理解と習得		
評価方法 評価基準	授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う		
使用教材	Machintosh PC、改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス		
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	1	自主サイト制作:コンセプトシート作成	指定されたカテゴリに基づき、サイト内容を決定
	2	自主サイト制作:コンセプトシート作成	サイト内容に基づくワイヤーフレームを作成
	3	自主サイト制作:コンセプトシート作成	サイト内容に基づくワイヤーフレームを作成
	4	自主サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成
	5	自主サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成
	6	自主サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成
	7	自主サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築
	8	自主サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築
	9	自主サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築
	10	自主サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築
	11	制作発表	制作発表、プレゼンテーション
	12	制作発表	制作発表、プレゼンテーション
	13	後期制作課題の振り返り	
	14	年間の講評	
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	コマーシャルフォト I		指導担当者名	阿部 治	
実務経験	写真スタジオにて撮影業務に3年間従事し、現在フリー活動をしている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真とカメラの基礎知識の習得</li> <li>・スタジオ(撮影機材とライティング)の基礎知識と操作技術の習得</li> <li>・広告写真を制作する</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・制作課題</li> </ul>				
使用教材	テキスト: 作品づくりが上達する RAW現像読本 ~Lightroom CC/6で写真編集力アップ! 撮影機材: 一眼レフカメラ、スポットライト、レフ版、三脚、露出計、レンズ各種、背景紙				
授業外学習の方法	広告や雑誌などを見て研究、自主的に撮影の練習をする、夏休みの課題撮影				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	写真の基礎知識	写真とは何か 広告写真の解説		
	2	写真の基礎知識	光とボケについて		
	3	写真の基礎知識	カメラの設定について		
	4	撮影機材の基礎知識	一眼レフカメラの使用方法について実践解説		
	5	撮影機材の基礎知識	ライティングについて実践解説		
	6	撮影機材の基礎知識	スタジオ撮影機材の使用方法について実践解説		
	7	広告写真課題制作	企画・コンセプトの設定		
	8	広告写真課題制作	テスト撮影		
	9	制作課題の中間審査	プレゼン・添削		
	10	広告写真課題制作	テスト撮影		
	11	広告写真課題制作	本番撮影		
	12	広告写真課題制作	本番撮影		
	13	前期期末試験	制作課題のプレゼン		
	14	前期期末試験の振り返り	制作課題の講評		
	15				
	16				
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	コマーシャルフォト I		指導担当者名	阿部 治	
実務経験	写真スタジオにて撮影業務に3年間従事し、現在フリー活動をしている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真とカメラの基礎知識の習得</li> <li>・スタジオ(撮影機材とライティング)の基礎知識と操作技術の習得</li> <li>・広告写真を制作する</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・制作課題</li> </ul>				
使用教材	テキスト: 作品づくりが上達する RAW現像読本 ~Lightroom CC/6で写真編集力アップ! 撮影機材: 一眼レフカメラ、スポットライト、レフ版、三脚、露出計、レンズ各種、背景紙				
授業外学習の方法	広告や雑誌などを見て研究、自主的に撮影の練習をする				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	夏休みの課題のプレゼン	プレゼン・添削		
	2	広告写真課題制作	企画・コンセプトの設定(人物・物)		
	3	広告写真課題制作	コンセプトに基づいたテスト撮影		
	4	広告写真課題制作	構図のテスト撮影		
	5	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影		
	6	広告写真課題制作	本番撮影		
	7	制作課題の中間審査	プレゼン・添削		
	8	広告写真課題制作	コンセプトに基づいたテスト撮影		
	9	広告写真課題制作	構図のテスト撮影		
	10	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影		
	11	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影		
	12	広告写真課題制作	本番撮影		
	13	前期期末試験	制作課題の提出		
	14	前期期末試験の振り返り	制作課題の講評		
	15				
	16				
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	企画プランニング演習 I		指導担当者名	増田 淳子	
実務経験	デザイン制作会社社長 20年間以上の経験を持っている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	広告および広告企画に関する基本(コンセプトワーク、表現手段、媒体活用等)の修得				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、課題の企画内容・表現等の完成度				
使用教材	「広告の基本がわかる本」等からその都度準備				
授業外学習 の方法	現行トレンドと今までの歴史について調べを進める事				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	授業内容説明、自己アピール			
	2	広告とは何か	「もし広告がなくなったら」を考察、広告が暮らしに深く関わる活動であることを伝える		
	3	広告および企画の重要性について①	広告の目的・役割・世に出るまでの流れを説明。デザインという仕事の役割・重要性等へと繋げる。		
	4	広告および企画の重要性について②	企画の重要性・考える際の具体的な進め方のポイントについて		
	5	前期課題	「飲料水のパッケージおよびネーミングの企画・制作」課題目的(情報収集の必要性・デザインとコピー(ネーミング)の関連性を知る)		
	6	前期課題	情報収集の1つとして商品販売現場視察(ヨークベニマル予定)		
	7	前期課題	ネーミングの重要性、ネーミング制作のポイントについて		
	8	前期課題	課題制作(商品関連情報収集、ネーミング・パッケージ案出し)		
	9	前期課題	ネーミング・パッケージ案検討・決定		
	10	前期課題	最終案制作		
	11	前期課題	プレゼン準備		
	12	課題プレゼンテーション	課題プレゼンテーション、前期まとめ		
	13	課題講評			
	14	前期振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	企画プランニング演習 I		指導担当者名	増田 淳子
実務経験	デザイン制作会社社長 20年間以上の経験を持っている			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	広告および広告企画に関する基本(コンセプトワーク、表現手段、媒体活用等)の修得			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、課題の企画内容・表現等の完成度			
使用教材	「広告の基本がわかる本」等からその都度準備			
授業外学習の方法	現行トレンドと今までの歴史について調べを進める事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	前期振り返り(復習)		
	2	媒体について	媒体とは何か(媒体の役割、主要媒体の種類・特性など)。まずグループにより特徴等を考察	
	3	媒体について	テレビ、ラジオ、新聞について	
	4	媒体について	雑誌、インターネット、その他について	
	5	後期課題	「前期自作飲料水の発売企画・表現物制作」課題目的(興味を引き、最終的に購入に導くための企画の重要性を意識させ、具体的に考えさせ)	
	6	後期課題	フィールドワーク(企画展開の1つの場として人が集まる駅前および交通広告等の現状を調査)	
	7	後期課題	自作飲料水の特性・魅力、ターゲットなどの確認。	
	8	後期課題	より効果的な企画の案出し	
	9	後期課題	企画案に基づく表現案検討・制作	
	10	後期課題	企画案まとめ、最終案制作	
	11	後期課題	プレゼン準備	
	12	課題プレゼンテーション	課題プレゼンテーション、1年間のまとめ	
	13	課題講評		
	14	後期振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	グラフィックデザイン演習 I		指導担当者名	小濱 玲
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	デザイン感性の向上、商業デザイン・実、的な流れを身につけ効果的なデザインの企画・制作・プレゼン力を身につける。			
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、課題提出			
使用教材	Machintosh PC、教科書			
授業外学習 の方法	課題を翌週に提出するように、情報収集をした上でデザインを制作する			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  前期	1	デザインの目的と効果	好きな広告・嫌いな広告の理由から知る・画像収集	
	2	大まかな実務の流れ	名刺制作	
	3	おさらい・情報整理	情報の収集、整理の仕方について	
	4	イメージとラフ制作について	画像収集・レイアウト [実技]	
	5	イメージとラフ制作について	マージン・ジャンプ率 [実技]	
	6	実制作について	配色・トーン・色のイメージ・フォントの選び方 [実技]	
	7	実制作について	レイアウトのセオリー・図式化・グラフ・エディトリアル [実技]	
	8	デザインの技法	対比・反復・裁ち落とし [実技]	
	9	デザインの技法	重心・余白・対称性・比較 [実技]	
	10	デザインの技法	写真と文字 [実技]	
	11	課題制作①	商品販売目的に沿ったデザインの制作(ポスター)	
	12	課題添削	商品販売目的に沿ったデザインの制作(ポスター)	
	13	課題講評	各自プレゼンテーション	
	14	前期振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 目的に沿ったデザインの制作を具体的に伝え、実務を重ねることで経験を重ねる。				

## 授業計画(シラバス)

科目名	グラフィックデザイン演習 I		指導担当者名	小濱 玲	
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	デザイン感性の向上、商業デザイン・実、的な流れを身につけ効果的なデザインの企画・制作・プレゼン力を身につける。				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、課題提出				
使用教材	Machintosh PC、教科書				
授業外学習 の方法	課題を翌週に提出するように、情報収集をした上でデザインを制作する				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  後 期	1	画像処理	切抜・解像度・CMYK・サイズ [実技]		
	2	レイヤー・データの管理・図式化	オペレート・パッケージ・アイコン制作 [実技]		
	3	新聞作成・半3段制作	情報整理・ジャンプ率・一色刷り [実技]		
	4	DM作成 (MAP)	オペレート・レイアウト・情報整理・配色 [実技]		
	5	フライヤー(規格サイズ提案)	オペレート・レイアウト・情報整理・配色 [実技]		
	6	A3ポスター(大きな制作物について)	オペレート・レイアウト・情報整理・配色 [実技]		
	7	ロゴ制作(制作)	配色・企画		
	8	ロゴ制作(プレゼン)	プレゼンカ		
	9	課題制作②	クライアント目的に沿った企画・デザインの制作(企画書作成)		
	10	課題添削	クライアント目的に沿った企画・デザインの制作(企画書作成)		
	11	課題添削	クライアント目的に沿った企画・デザインの制作(企画書作成)		
	12	課題添削	中間添削		
	13	課題添削	クライアント目的に沿った企画・デザインの制作(企画書作成)		
	14	課題講評	各自プレゼンテーション		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 目的に沿ったデザインの制作を具体的に伝え、実務を重ねることで経験を重ねる。					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ポートフォリオ制作実習 I		指導担当者名	松岡純代、佐藤日和	
実務経験	デザイン制作会社にて写真撮影業務に7年間従事し、現在も活躍中			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品数を増やす</li> <li>・就職活動用のポートフォリオを制作する</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・成果物の出来栄え(完成度・オリジナル性・表現力・プレゼン力・一般常識)</li> <li>・提出物等</li> </ul>				
使用教材	資料配布				
授業外学習 の方法	制作物の整理と管理				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	課題発表／ポートフォリオ解説	春休み課題提出、ポートフォリオの説明、事務連絡		
	2	ポートフォリオ解説／観察スケッチ	ポートフォリオの説明、デザインの考え方について		
	3	作品制作	オリジナルロゴマークデザイン		
	4	作品制作	オリジナルロゴマークデザイン		
	5	作品制作	写真(構図、伝える写真について)		
	6	作品制作	写真(構図、伝える写真について)		
	7	作品制作	メッセージを伝えるポスター制作		
	8	作品制作	メッセージを伝えるポスター制作		
	9	作品制作	就活用プロフィール		
	10	作品制作	就活用プロフィール		
	11	作品制作	試験課題発表		
	12	期末試験準備	課題制作		
	13	期末試験	課題提出、プレゼンテーション		
	14	期末試験フィードバック	課題とプレゼンテーションについて講評		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ポートフォリオ制作実習 I		指導担当者名	松岡純代、佐藤日和	
実務経験	デザイン制作会社にて写真撮影業務に7年間従事し、現在も活躍中			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品数を増やす</li> <li>・就職活動用のポートフォリオを制作する</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・成果物の出来栄え(完成度・オリジナル性・表現力・プレゼン力・一般常識)</li> <li>・提出物等</li> </ul>				
使用教材	資料配布				
授業外学習 の方法	制作物の整理と管理				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  後 期	1	ポートフォリオ解説	就活用ポートフォリオ制作とは		
	2	就活用ポートフォリオ解説・制作	カテゴリ分けについて		
	3	就活用ポートフォリオ解説・制作	レイアウトについて		
	4	就活用ポートフォリオ解説・制作	作品の入れ方について		
	5	就活用ポートフォリオ解説・制作	フォント・文章について		
	6	就活用ポートフォリオ解説・制作	就活用とセルフアピールの違いについて		
	7	中間審査	就活用ポートフォリオの提出、進捗確認		
	8	就活用ポートフォリオ制作	個別指導・添削 カテゴリ分けの確認		
	9	就活用ポートフォリオ制作	個別指導・添削 レイアウトの確認		
	10	就活用ポートフォリオ制作	個別指導・添削 バランスの確認		
	11	就活用ポートフォリオ制作	個別指導・添削 レイアウトと整頓の確認		
	12	就活用ポートフォリオ制作	個別指導・添削 誤字脱字の確認		
	13	期末試験	就活用ポートフォリオの提出、プレゼンテーション		
	14	期末試験フィードバック	課題とプレゼンテーションの講評		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	DTP概論 I	指導担当者名	石井祐一
実務経験	印刷会社社長として現在も活躍中、15年間従事している		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	DTPについて基礎知識の習得		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・中間試験</li> <li>・前期試験</li> </ul>		
使用教材	新詳説 DTP基礎[改訂四版]		
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  前期	1	DTPの概要	DTPとは? DTPの歴史
	2	DTPの概要	DTPの流れと職種 DTPに必要な知識
	3	DTPの概要	DTPデータの活用
	4	印刷の基礎知識	印刷物ができるまで 印刷方式の種類 カラー印刷のしくみと印刷線数
	5	印刷の基礎知識	印刷用紙 面付けと折り加工 製本
	6	印刷の基礎知識	特殊印刷と特殊加工 GTPとDDCP オンデマンド印刷
	7	DTPに必要なもの	DTPシステム ハードウェア(①パソコン本体②インターフェースとディスプレイ)
	8	DTPに必要なもの	ハードウェア(③入力機器とプリンター④メディアとネットワーク)ソフトウェア(①OS
	9	DTPに必要なもの	ソフトウェア(②グラフィック③ページレイアウトとPDF④フォントとその他のソフト)
	10	グラフィックデータ	グラフィックデータの種類 画像解像度とビット深度 写真原稿とスキャニング
	11	グラフィックデータ	画像データの修正Photoshopの活用① 画像データの調整Photoshopの活用② 画像データの加工Photoshopの活用③
	12	グラフィックデータ	ベクトル画像のしくみIllustratorの活用① ロゴや図版などの作成Illustratorの活用② ファイル形式と画像リソースの活用
	13	前期期末試験	
	14	前期の振り返り	
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	DTP概論 I		指導担当者名	石井祐一
実務経験	印刷会社社長として現在も活躍中、15年間従事している			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	DTPIについて基礎知識の習得			
評価方法 評価基準	・授業態度 ・後期試験			
使用教材	新詳説 DTP基礎[改訂四版]			
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	文字組とフォント	テキストデータ 文字の属性	
	2	文字組とフォント	文字詰めと文字の変形 段落の設定	
	3	文字組とフォント	デジタルフォント(①PostScript/TrueType②OpenType)	
	4	文字組とフォント	文字コードと文字セット フォントの管理	
	5	色の基本と印刷	色の原理 色の属性とトーン 特色	
	6	色の基本と印刷	トラッピングとリッチブラック カラーマネジメント	
	7	組版とレイアウトの基本	トンボと裁ち落とし ペラもののレイアウト ページのづくり	
	8	組版とレイアウトの基本	多ページもののフォーマットの作成 多ページもののレイアウト	
	9	組版とレイアウトの基本	スタイル機能の活用 入稿データのチェック	
	10	PDFと電子書籍	PDFとは 閲覧用PDF	
	11	PDFと電子書籍	入稿用PDF 電子書籍①フォーマットと端末(リーダー)	
	12	PDFと電子書籍	電子書籍(②EPUB③PDFとアプリ型)	
	13	後期期末試験		
	14	後期の振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション技法		指導担当者名	村山 隆
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	サーティファイ コミュニケーション検定初級の取得 ロールプレイングを通してコミュニケーション力の向上を目指す			
評価方法 評価基準	筆記試験、出席率、課題提出による評価を行う 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する			
使用教材	コミュニケーション検定初級 テキスト			
授業外学習 の方法	テキストを使用し、過去問題を回答する			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	授業の目的、使用教材についての理解、授業の進行について説明	
	2	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	1-1コミュニケーションを考える	
	3	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	2-1目的に即して働く	
	4	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	2-2傾聴・質問する	
	5	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-1目的を意識する	
	6	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-1目的を意識する	
	7	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-2話を組み立てる	
	8	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-2話を組み立てる	
	9	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-3言葉を選び抜く	
	10	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-3言葉を選び抜く	
	11	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	3-4表現伝達する	
	12	前期期末試験	コミュニケーション概論 期末試験	
	13	パート1 コミュニケーションセオリー(理論)	まとめ・復習	
	14	前期試験	1-1来客対応	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	コミュニケーション技法	指導担当者名	村山 隆
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	56時間	週時間数	1時間
学習到達目標	サーティファイ コミュニケーション検定初級の取得 ロールプレイングを通してコミュニケーション力の向上を目指す		
評価方法 評価基準	筆記試験、出席率、課題提出による評価を行う 上記成績評価を100点満点で点数化し総合評価する		
使用教材	コミュニケーション検定初級 テキスト		
授業外学習 の方法	テキストを使用し、過去問題を回答する		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業 計画  後 期	1	期末試験振り返り	1-2電話対応
	2	コミュニケーションプラクティス(実践)	1-3アポイントメント・訪問・挨拶
	3	コミュニケーションプラクティス(実践)	1-4情報共有の重要性
	4	コミュニケーションプラクティス(実践)	1-4情報共有の重要性
	5	コミュニケーションプラクティス(実践)	1-5チームコミュニケーション
	6	コミュニケーションプラクティス(実践)	2-1接客営業
	7	コミュニケーションプラクティス(実践)	2-2クレーム対応
	8	コミュニケーションプラクティス(実践)	2-3会議・取材・ヒアリング
	9	コミュニケーションプラクティス(実践)	2-4面接
	10	コミュニケーションプラクティス(実践)	2-4面接
	11	検定対策	本番の検定に向けて振り返り
	12	検定対策	本番の検定に向けて振り返り
	13	期末試験	本番の検定に向けて振り返り
	14	期末試験振り返り	検定実施
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	色彩概論 I	指導担当者名	佐藤日和、松岡純代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	色彩検定3級合格を目指す		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・期末試験</li> <li>・提出課題</li> </ul>		
使用教材	色彩概論テキスト		
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業趣旨説明、簡単な実習
	2	確認テスト番号	教科書、問題集PCCS
	3	確認テスト色のはたらきについて	教科書、問題集色のはたらき、色とイメージ
	4	確認テスト光と色	教科書、問題集色はなぜ見えるのか、目のしくみ
	5	確認テスト混色	教科書、問題集照明と色の見え方、加法混色、減法混色
	6	確認テスト色の分類と三属性	教科書、問題集色の三属性、等色相面
	7	確認テストPCCS色相	教科書、問題集色相、明度、彩度、トーンのイメージ
	8	確認テストトーン記号	教科書、問題集色相とトーンによる色の表示方法
	9	確認テスト慣用色名①	教科書、問題集慣用句名、暖色と寒色
	10	確認テスト色彩心理	教科書、問題集進出色と後退色、膨張色と収縮色
	11	確認テスト色対比と錯視	教科書、問題集色対比、同化効果、色陰現象、色の錯視
	12	確認テスト色彩調和	教科書、問題集配色、色相から配色を考える
	13	確認テスト色彩効果	教科書、問題集配色技法、色彩と構成
	14	レポート作成	まとめ
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	色彩概論 I	指導担当者名	佐藤日和、松岡純代
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	色彩検定3級合格を目指す		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・期末試験</li> <li>・提出課題</li> </ul>		
使用教材	色彩概論テキスト		
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画  後期	1	確認テスト授業説明	教科書、問題集
	2	確認テスト色彩と生活	教科書、問題集生活環境と色彩、生活環境とカラーコーディネーション
	3	確認テストファッションと色彩	教科書、問題集 ファッションとは、ファッションコーディネートにおける色彩、基本的なカラーコー
	4	確認テストインテリアと色彩	教科書、問題集 インテリアとは、住宅インテリアの色彩
	5	確認テストインテリアのカラーコーディネーション	教科書、問題集 インテリアのカラーコーディネーション、インテリアにおける色の心理的効果
	6	確認テストコーポレートカラー	教科書、問題集 インテリアの配色、インテリアにおける色彩検討、コーポレートカラー
	7	確認テスト慣用色名②	教科書、問題集慣用句名説明
	8	確認テスト過去問題	2017夏解答と解説
	9	確認テスト過去問題	2017冬解答と解説
	10	確認テスト過去問題	2018夏解答と解説
	11	確認テスト過去問題	2018冬解答と解説
	12	確認テスト過去問題	2019夏解答と解説
	13	色彩検定2級についての説明	次年度概要説明
	14	レポート作成	まとめ
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	メディア基礎実習		指導担当者名	村山 隆	
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に7年間従事、現在はフリーで活躍している			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	28時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	マルチメディア概論 美術デザイン史 写真史 の知識を学び各種メディアを使いこなす				
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、前期試験				
使用教材	PC,プリンタ、カメラ等				
授業外学習 の方法	現行トレンドと今までの歴史について調べを進める事				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	マルチメディア	デザインとマルチメディア		
	2	マルチメディア	Appleの事例		
	3	マルチメディア	アナログとデジタル		
	4	マルチメディア	デジタル化 デジタルデータとは		
	5	マルチメディア	情報の保存性と管理・検索		
	6	マルチメディア	マルチメディアの要素1文字		
	7	マルチメディア	マルチメディアの要素2画像		
	8	マルチメディア	マルチメディアの要素3音声と動画		
	9	マルチメディア	双方向性		
	10	マルチメディア	ユーザーインターフェイス GUI		
	11	マルチメディア	バーチャルリアリティ		
	12	マルチメディア	パソコン ハード・ソフト OS		
	13	コンテンツ	周辺機器 ファイルフォーマット		
	14	前期試験			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	メディア基礎実習	指導担当者名	村山 隆
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に7年間従事、現在はフリーで活躍している		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	マルチメディア概論 美術デザイン史 写真史 の知識を学び各種メディアを使いこなす		
評価方法 評価基準	出席状況、授業態度、後期試験		
使用教材	PC,プリンタ、カメラ等		
授業外学習 の方法	現行トレンドと今までの歴史について調べを進める事		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  後 期	1	コンテンツ	画像処理
	2	コンテンツ	映像 音声の再生と編集
	3	コンテンツ	3DCG モーショングラフィック
	4	インターネット	Webサイト コンテンツ アプリ
	5	インターネット	通信ネットワーク 電波 ネットビジネス スマートフォン
	6	デザイン	デザイン史-1
	7	デザイン	デザイン史-2
	8	デザイン	デザイン史-3
	9	デザイン	写真史-1 写真史-2
	10	デザイン	芸術心理学-1
	11	デザイン	芸術心理学-2
	12	デザイン	芸術心理学-3
	13	後期試験	期末試験
	14	後期試験・評価	期末試験の解答と解説
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	学科担任名	
実務経験			実務経験:	
開講時期	後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科1年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:	
時間数	180時間	週時間数	6週/180時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学科で学んだ内容を活かした作品制作</li> <li>・テーマを掲げ対象者を意識した作品制作</li> <li>・自らの作品をアピールするプレゼンテーションが出来る</li> </ul>			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で1年間の集大成となる作品制作をすること</li> <li>また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること</li> <li>評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」</li> </ul>			
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事			
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事			
<b>学期</b>	<b>ターム (週)</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業計画  後期	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる	
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく	
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても可視化していく	
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施  学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く  ・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など	
	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、  また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作	
	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施  ・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応  *学科内シフトにより登校  展示終了後は撤収と作品保管をする	
	履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率が80%に満たない場合は、発表機会を与えない</li> <li>・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンを実施 そこで一定の評価があれば合格とする</li> <li>・再プレゼンで不合格の場合認定となる</li> </ul>				

## 授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	佐藤日和、松岡純代
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動指導 * 学生の進路にあわせて柔軟に指導してください。 (プロ希望、業界志望、その他企業志望)			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等			
使用教材	動画教材 テキスト(SUCCESS)			
授業外学習 の方法	就職に向けた活動をし、その報告を随時行う事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  前期	1	1年次の確認	履歴書、入退室の確認	
	2	受験後の報告	動画なし 受験後の報告と内定後の生活、不合格した場合の振り返り	
	3	就職試験のマナー	5-1~5-2まで 面接、試験時の確認	
	4	巻末資料確認	以前のテキストサクセス参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の書き方やメール、インターネットを使用したときの注意	
	5	履歴書確認 1	3-8 全体の書き方の見直し	
	6	履歴書確認 2	3-4~3-6-2 自己PRの見直し	
	7	履歴書確認 3	3-7~3-8 志望動機の見直し	
	8	履歴書確認 4	3-1~3-3,3-6~3-6-2 履歴書にふさわしい文章の書き方の見直し	
	9	面接対策 1	4-1~4-5 面接での振る舞いについて	
	10	面接対策 2	4-1~4-5 面接で緊張をした時の対策,緊張しないための対策	
	11	面接対策 3	4-1~4-5 面接での話し方について	
	12	個別指導	履歴書完成	
	13	予備	確認機関	
	14	期末試験	履歴書作成	
	15			
	16			
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	就職実務Ⅱ		指導担当者名	佐藤日和
実務経験				実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動指導 * 学生の進路にあわせて柔軟に指導してください。 (プロ希望、業界志望、その他企業志望)			
評価方法 評価基準	授業態度、提出物等			
使用教材	動画教材 テキスト(SUCCESS)			
授業外学習の方法	就職に向けた活動をし、その報告を随時行う事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	受験後の報告	動画なし 受験後の報告と内定後の生活、不合格した場合の振り返り	
	2	就職試験のマナー	5-2~5-2(実践編) 面接、試験時の確認	
	3	巻末資料確認	以前のテキストサクセス参照 P39~45 P94~ 各種ビジネス文章の書き方やメール、インターネットを使用したときの注意	
	4	履歴書確認 1	全体の書き方の見直し	
	5	履歴書確認 2	自己PRの見直し	
	6	履歴書確認 3	志望動機の見直し	
	7	個別指導	動画なし 個々に合わせて動画使用してください。	
	8	筆記試験対策 1	3-1~3-3,3-6~3-6-2,5-3~5-5 各種適性検査、一般常識、作文	
	9	筆記試験対策 2	3-1~3-3,3-6~3-6-2,5-3~5-5 各種適性検査、一般常識、作文	
	10	筆記試験対策 3	3-1~3-3,3-6~3-6-2,5-3~5-5 各種適性検査、一般常識、作文	
	11	個別指導	動画なし 個々に合わせて動画使用してください。	
	12	定着指導 1	別途プリント配布 卒業後の早期離職をしないように指導をする	
	13	定着指導 2	別途プリント配布 卒業後の早期離職をしないように指導をする	
	14	期末試験	作文課題 800時 卒業後の抱負など	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	ポートフォリオ制作実習Ⅱ		指導担当者名	松岡純代、佐藤日和	
実務経験	デザイン制作会社にて写真撮影業務に7年間従事し、現在も活躍中			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	<p>前期のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動用のポートフォリオを完成 (希望する職種によって作り分けが出来るようになる)</li> <li>・商品制作と販売の経験と知識を得る</li> <li>・実践的なデザイン制作を行う</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・成果物の出来栄 (完成度・オリジナル性・表現力・プレゼン力・一般常識)</li> </ul>				
使用教材	MACPC,プリンタ,その他				
授業外学習の方法	・作品のデータ管理とカテゴリ分けを実施する事 ・				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	首都圏研修(デザインフェスタ出店)準備①	イベントの案内、企画書作成、商品制作		
	2	首都圏研修(デザインフェスタ出店)準備②	商品制作①		
	3	首都圏研修(デザインフェスタ出店)準備③	商品制作②		
	4	デザインフェスタ振り返り/就活用ポートフォリオ制作	売上・感想のフィードバック/就活用ポートフォリオ		
	5	就活用ポートフォリオ制作①	個別指導・添削		
	6	就活用ポートフォリオ制作②	個別指導・添削		
	7	就活用ポートフォリオ制作③	個別指導・添削		
	8	就職活動用ポートフォリオ中間発表	課題進捗確認、プレゼンテーション		
	9	就活用ポートフォリオ制作④	個別指導・添削		
	10	就活用ポートフォリオ制作⑤	個別指導・添削		
	11	就活用ポートフォリオ制作⑥	個別指導・添削		
	12	期末試験準備(就活用ポートフォリオ制作⑦)	試験課題発表、課題制作		
	13	期末試験(ポートフォリオプレゼン)	課題提出、プレゼンテーション		
	14	期末試験フィードバック	課題とプレゼンテーションについて講評		
	15				
	16				
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ポートフォリオ制作実習Ⅱ		指導担当者名	松岡純代、佐藤日和	
実務経験	デザイン制作会社にて写真撮影業務に7年間従事し、現在も活躍中			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	後期のポイント ・自身の作品アピールが出来るポートフォリオを完成 ・セルフポートレートが出来る内容を重視する ・商品制作と販売の経験と知識を得る ・実践的なデザイン制作を行う				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・成果物の出来栄(完成度・オリジナル性・表現力・プレゼン力・一般常識)				
使用教材	PC,プリンタ,その他				
授業外学習の方法	・作品のデータ管理とカテゴリ分けを実施する事				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業計画 後期	1	オリジナル作品集制作①	個別指導・添削(DTP中心)		
	2	オリジナル作品集制作②	個別指導・添削(DTP中心)		
	3	オリジナル作品集制作③	個別指導・添削(写真中心)		
	4	オリジナル作品集制作⑤	個別指導・添削(写真中心)		
	5	合同作品制作①	同学科、学年による共同制作を実施し、ポートフォリオに入れ込む		
	6	合同作品制作②	同学科、学年による共同制作を実施し、ポートフォリオに入れ込む		
	7	中間発表前のまとめ	個別指導・添削		
	8	中間発表	課題進捗確認、プレゼンテーション		
	9	オリジナル作品集制作⑤	個別指導・添削(WEB中心)		
	10	オリジナル作品集制作⑥	個別指導・添削(WEB中心)		
	11	オリジナル作品集制作⑦	個別指導・添削(WEB中心)		
	12	期末試験準備(オリジナル作品集制作⑧)	試験課題発表、課題制作		
	13	期末試験	課題提出、プレゼンテーション		
	14	期末試験フィードバック	課題とプレゼンテーションについて講評		
	15				
	16				
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	Illustrator&Photoshop演習Ⅱ		指導担当者名	小濱 玲
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期では サーティファイ Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す * 後期では サーティファイ photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す			
評価方法 評価基準	・期末試験 ・中間試験 ・検定合格結果(参考)			
使用教材	MACPC Illustrator®クイックマスター CC (Win/Mac) 対応、Photoshop®クイックマスター-CC (Win/Mac) 対応			
授業外学習の方法	・テキストを使つての事前予習 ・テキストを使つての実技練習			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画  前期	1	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 2部応用編 チャプター1 オブジェクトの描画 線 レイアウトの	
	2	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター2 スウォッチ、パターン、グラデーション、アピアランス	
	3	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター3 レイヤー応用 チャプター4 パス上文字入力、文字種類、文字関連機能	
	4	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 コンテンツの制作編 チャプター1 制作	
	5	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 コンテンツの制作編 チャプター2 制作	
	6	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター3 WEB用に保存する、WEBパーツデザインをする	
	7	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター4 グラフの基本操作、グラフのデザインをカスタマイズする	
	8	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター4 グラフの基本操作、グラフのデザインをカスタマイズする	
	9	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター5 DTPのための環境設定、名刺デザイン	
	10	Illustrator検定実技対策(エキスパート)	クイックマスター 第3部 チャプター5 写真を配置したDM、見開きパンフレットのデザイン	
	11	過去問題	一昨年の問題の実践と解説	
	12	過去問題	昨年の問題の実践と解説	
	13	期末試験	実際の試験同様の時間で知識と実技試験の実施	
	14	前期振り返り	検定試験前の最終確認授業	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	Illustrator&Photoshop演習Ⅱ		指導担当者名	小濱玲
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	アプリケーションのアドバンススキル習得 * 前期では サーティファイ Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す * 後期では サーティファイ photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート 取得を目指す			
評価方法 評価基準	・期末試験 ・中間試験 ・検定合格結果(参考)			
使用教材	Illustrator®クイックマスター CC (Win/Mac) 対応、Photoshop®クイックマスター-CC (Win/Mac) 対応			
授業外学習の方法	・テキストを使つての事前予習 ・テキストを使つての実技練習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  後 期	1	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター 第2部 コンテンツ制作編 チャプター1 色調補正ツールの基本ワザ、食べ物の写真を補正する	
	2	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター1 曇天の裏路地を夕暮れに変える、ロゴデザイン	
	3	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター2 ロゴデザイン、カスタムシェイプとカスタムスタイルで制作、煤けたナンバープレートの制作	
	4	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター3 アクションで作るミニフォトカード、写真から作る立体ポップ、フィルターで作るブックカバー	
	5	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター4 フォトコラージュ	
	6	Photoshop検定対策(エキスパート)	クイックマスター チャプター5 WEBサイトデザイン	
	7	Photoshop知識対策(エキスパート)	1年次からの振り返り、基本操作編1 P10~59	
	8	Photoshop知識対策(エキスパート)	1年次からの振り返り、基本操作編1 P60~119	
	9	Photoshop知識対策(エキスパート)	2年次習得用語振り返り、P120~181	
	10	Photoshop知識対策(エキスパート)	2年次習得用語振り返り、P182~246	
	11	過去問題	一昨年前の過去問題の実施と解説	
	12	過去問題	昨年度の過去問題の実施と解説	
	13	期末試験	実際の試験同様の時間で知識と実技試験の実施	
	14	前期振り返り	検定試験前の最終確認授業	
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	HTML/CSS演習		指導担当者名	渡辺 朗
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経験を持っている			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	HTML、基礎コードの理解と応用の習得。 CSSやJavascript等を用いて、商業サイトの制作を完成させる。			
評価方法 評価基準	授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う			
使用教材	Machintosh PC、改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス			
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業 計画  前期	1	1年次の振り返り	HTMLについて振り返り	
	2	XHTMLの理解	HTMLとXHTMLの違いについて知る	
	3	CSSの理解①	基礎内容	
	4	CSSの理解②	HTML反映箇所	
	5	CSSの理解③	cssソースコード内容理解	
	6	CSSの理解④	cssソースコード内容理解	
	7	CCSを用いて自主サイト制作	指定されたカテゴリに基づき、サイト内容を決定	
	8	CSSを用いて自主サイト制作	ワイヤーフレームを作成	
	9	CSSを用いて自主サイト制作	素材を収集・作成	
	10	CSSを用いて自主サイト制作	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	11	制作発表		
	12	制作発表		
	13	前期期末試験		
	14	前期試験の振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	HTML/CSS演習		指導担当者名	渡辺 朗
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経験を持っている			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	HTML、基礎コードの理解と応用の習得。 CSSやJavascript等を用いて、商業サイトの制作を完成させる。			
評価方法 評価基準	授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う			
使用教材	Machintosh PC、改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス			
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画  後 期	1	商業サイト制作:コンセプトシート作成	指定されたカテゴリに基づき、サイト内容を決定	
	2	商業サイト制作:コンセプトシート作成	サイト内容に基づくワイヤーフレームを作成	
	3	商業サイト制作:コンセプトシート作成	サイト内容に基づくワイヤーフレームを作成	
	4	商業サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成	
	5	商業サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成	
	6	商業サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成	
	7	中間審査	プレゼン、添削	
	8	商業サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	9	商業サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	10	商業サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築	
	11	制作発表	制作発表、プレゼンテーション	
	12	制作発表	制作発表、プレゼンテーション	
	13	後期制作課題の振り返り		
	14	年間の講評		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	WEBデザイン演習Ⅱ		指導担当者名	渡辺 朗	
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経験を持っている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	近年メインとされるWEBレイアウトサイトの構造理解 CSSやJavascript等を用いて、商業サイトの制作を完成させる。				
評価方法 評価基準	授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う				
使用教材	Machintosh PC、改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス				
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画  前期	1	WEBコンテンツの理解①	関連データ、構築内容の理解する		
	2	WEBコンテンツの理解②	ディレクトリ関連の構造理解		
	3	WEBコンテンツの理解③	動的作用の理解		
	4	WEBレイアウトの理解①	PC表示形式		
	5	WEBレイアウトの理解②	スマートフォン、タブレット表示形式		
	6	サーバー設定の理解	サーバー内容の理解		
	7	サーバー設定の理解	サーバー内容の理解		
	8	サーバー設定の理解	サーバー設定の理解		
	9	サーバー設定の理解	サーバー設定の理解		
	10	CMSの理解①	CMSの説明		
	11	CMSの理解②	ECサイト構築概要		
	12	CMSの理解③	ECサイト構築概要		
	13	前期期末試験			
	14	前期試験の振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	WEBデザイン演習Ⅱ		指導担当者名	渡辺 朗	
実務経験	デザイン制作会社社長 10年間以上の経歴を持っている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	近年メインとされるWEBレイアウトサイトの構造理解 CSSやJavascript等を用いて、商業サイトの制作を完成させる。				
評価方法 評価基準	授業毎の提出物。期末の制作物発表(プレゼンテーション) ※習得度合いにより筆記試験を行う				
使用教材	Machintosh PC、改訂第6版 HTML&スタイルシート ポケットリファレンス				
授業外学習 の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  後 期	1	商業サイト制作:コンセプトシート作成	指定されたカテゴリに基づき、サイト内容を決定		
	2	商業サイト制作:コンセプトシート作成	サイト内容に基づくワイヤーフレームを作成		
	3	商業サイト制作:コンセプトシート作成	サイト内容に基づくワイヤーフレームを作成		
	4	商業サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成		
	5	商業サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成		
	6	商業サイト制作:素材収集・作成	サイト内容に基づく素材を収集・作成		
	7	商業サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築		
	8	商業サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築		
	9	商業サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築		
	10	商業サイト制作:サイト構築	サイト内容に基づき、ソースコード構築		
	11	制作発表	制作発表、プレゼンテーション		
	12	制作発表	制作発表、プレゼンテーション		
	13	後期制作課題の振り返り			
	14	年間の講評			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	コマーシャルフォトⅡ		指導担当者名	阿部 治	
実務経験	写真スタジオにて撮影業務に3年間従事し、現在フリー活動をしている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数	84時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・テーマに沿った広告写真を制作する				
評価方法 評価基準	・授業態度 ・制作課題				
使用教材	テキスト: 作品づくりが上達する RAW現像読本 ~Lightroom CC/6で写真編集力アップ! 撮影機材: 一眼レフカメラ、スポットライト、レフ版、三脚、露出計、レンズ各種、背景紙				
授業外学習の方法	広告や雑誌などを見て研究、自主的に撮影の練習をする				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	広告写真課題制作	企画・コンセプトの設定		
	2	広告写真課題制作	コンセプトに基づいたテスト撮影		
	3	広告写真課題制作	構図のテスト撮影		
	4	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影		
	5	広告写真課題制作	本番撮影		
	6	制作課題の中間審査	プレゼン・添削		
	7	広告写真課題制作	コンセプトに基づいたテスト撮影		
	8	広告写真課題制作	構図のテスト撮影		
	9	広告写真課題制作	構図のテスト撮影		
	10	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影		
	11	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影		
	12	広告写真課題制作	本番撮影		
	13	前期期末試験	制作課題のプレゼン		
	14	前期期末試験の振り返り	制作課題の講評		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	コマーシャルフォト I	指導担当者名	阿部 治
実務経験	写真スタジオにて撮影業務に3年間従事し、現在フリー活動をしている		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間
学習到達目標	・テーマに沿った広告写真を制作する		
評価方法 評価基準	・授業態度 ・制作課題		
使用教材	テキスト: 作品づくりが上達する RAW現像読本 ~Lightroom CC/6で写真編集力アップ! 撮影機材: 一眼レフカメラ、スポットライト、レフ版、三脚、露出計、レンズ各種、背景紙		
授業外学習の方法	広告や雑誌などを見て研究、自主的に撮影の練習をする		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	広告写真課題制作	企画・コンセプトの設定
	2	広告写真課題制作	コンセプトに基づいたテスト撮影
	3	広告写真課題制作	構図のテスト撮影
	4	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影
	5	広告写真課題制作	本番撮影
	6	制作課題の中間審査	プレゼン・添削
	7	広告写真課題制作	コンセプトに基づいたテスト撮影
	8	広告写真課題制作	構図のテスト撮影
	9	広告写真課題制作	構図のテスト撮影
	10	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影
	11	広告写真課題制作	ライティングのテスト撮影
	12	広告写真課題制作	本番撮影
	13	前期期末試験	制作課題のプレゼン
	14	前期期末試験の振り返り	制作課題の講評
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	DTP実習		指導担当者名	村山 隆
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に7年間従事、現在はフリーで活躍している			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	<p>【1】授業名 前期/InDesign実習 後期/コンテンツ自習</p> <p>【2】目的 Adobe InDesignを使った編集デザインとiOSコンテンツ制作</p> <p>【3】①学科:最新IT関連情報 ②実習: Adobe InDesignを使用したページレイアウト・組版、iPad・iPhone(iOS)対応コンテンツ制作</p> <p>【4】習得スキル①Adobe InDesignを使ったページデザイン②スマホ・タブレット向け電子書籍コンテンツ制作</p>			
評価方法 評価基準	<p>・授業態度20点 小テスト2,3回10点 期末テストと課題(提出レポート、データ)70点の計100点の予定</p> <p>・課題</p> <p>前期 テキストにそった基本操作・制作物、雑誌記事など簡単な制作物</p> <p>後期 スマホ・タブレットコンテンツ制作</p>			
使用教材	機材・テキスト・Mac(Adobe InDesign, Adobe Photoshop, Adobe Illustrator)			
授業外学習 の方法				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	Adobe InDesignと編集デザイン	基本操作	
	2	Adobe InDesignと編集デザイン	フライヤー制作1	
	3	Adobe InDesignと編集デザイン	フライヤー制作2	
	4	Adobe InDesignと編集デザイン	コラムページ制作	
	5	Adobe InDesignと編集デザイン	縦組みの書籍(文庫本)制作	
	6	Adobe InDesignと編集デザイン	パンフレット制作1マスターページ	
	7	Adobe InDesignと編集デザイン	パンフレット制作2	
	8	Adobe InDesignと編集デザイン	パンフレット制作3	
	9	Adobe InDesignと編集デザイン	パンフレット制作4	
	10	Adobe InDesignと編集デザイン	雑誌の見開きページ制作-1 写真の扱い	
	11	Adobe InDesignと編集デザイン	雑誌の見開きページ制作-2 写真の扱い	
	12	Adobe InDesignと編集デザイン	インタビュー記事制作-1	
	13	Adobe InDesignと編集デザイン	インタビュー記事制作-2	
	14	前期課題提出・評価		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	DTP実習		指導担当者名	村山 隆
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に7年間従事、現在はフリーで活躍している			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	84時間	週時間数	3時間	
学習到達目標	<p>【1】授業名 前期/InDesign実習 後期/コンテンツ自習</p> <p>【2】目的 Adobe InDesignを使った編集デザインとiOSコンテンツ制作</p> <p>【3】①学科:最新IT関連情報 ②実習: Adobe InDesignを使用したページレイアウト・組版、iPad・iPhone(iOS)対応コンテンツ制作</p> <p>【4】習得スキル①Adobe InDesignを使ったページデザイン②スマホ・タブレット向け電子書籍コンテンツ制作</p>			
評価方法 評価基準	<p>・授業態度20点 小テスト2,3回10点 期末テストと課題(提出レポート、データ)70点の計100点の予定</p> <p>・課題</p> <p>前期 テキストにそった基本操作・制作物、雑誌記事など簡単な制作物</p> <p>後期 スマホ・タブレットコンテンツ制作</p>			
使用教材	機材・テキスト・Mac(Adobe InDesign, Adobe Photoshop, Adobe Illustrator)			
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	Adobe InDesignと編集デザイン	ファッション記事制作-1	
	2	Adobe InDesignと編集デザイン	ファッション記事制作-2	
	3	Adobe InDesignと編集デザイン	ファッション記事制作-3	
	4	Adobe InDesignと編集デザイン	ファッション記事制作-4	
	5	デジタルコンテンツ制作	デジタルコンテンツ講義	
	6	デジタルコンテンツ制作	インタラクティブコンテンツ制作-1	
	7	デジタルコンテンツ制作	インタラクティブコンテンツ制作-2	
	8	デジタルコンテンツ制作	インタラクティブコンテンツ制作-3	
	9	デジタルコンテンツ制作	InDesignで作る電子書籍コンテンツ制作-1	
	10	デジタルコンテンツ制作	InDesignで作る電子書籍コンテンツ制作-2	
	11	デジタルコンテンツ制作	InDesignで作る電子書籍コンテンツ制作-3	
	12	デジタルコンテンツ制作	InDesignで作る電子書籍コンテンツ制作-4	
	13	デジタルコンテンツ制作	InDesignで作る電子書籍コンテンツ制作-5	
	14	後期課題提出		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	DTP概論Ⅱ		指導担当者名	石井祐一
実務経験	印刷会社社長として現在も活躍中、15年間従事している			実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	28時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	DTPについて基礎知識の習得			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・前期試験</li> </ul>			
使用教材	新詳説 DTP基礎[改訂四版]			
授業外学習の方法	各授業実施前後の予習と復習の徹底をする			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	印刷工程	印刷の方法	
	2	印刷工程	コストについて	
	3	フォント	フォントの種類について	
	4	フォント	アウトライン作成について	
	5	画像	拡張子と画像のサイズについて	
	6	画像	入稿データ(埋め込み方法について)	
	7	カラー	CMYKとRGBについて	
	8	カラー	カラーマネジメントについて	
	9	保存形式	デザインソフトの入稿データ保存について	
	10	保存形式	PDFデータの保存方法について	
	11	制作実習	Illustratorで課題制作	
	12	制作実習	Illustratorで課題制作	
	13	前期期末試験		
	14	前期振り返り		
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

## 授業計画(シラバス)

科目名	DTP概論Ⅱ	指導担当者名	石井祐一
実務経験	印刷会社社長として現在も活躍中、15年間従事している		実務経験： 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 1年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数	28時間	週時間数	1時間
学習到達目標	DTPについて基礎知識の習得		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・後期試験</li> </ul>		
使用教材	新詳説 DTP基礎[改訂四版]		
授業外学習の方法			
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 後期	1	印刷の種類	紙質の違いによる印刷
	2	印刷の種類	紙以外への素材による印刷
	3	製本の種類	並製本と上製本
	4	製本の種類	面付けと折り加工
	5	インクの種類	オフセット印刷と活版印刷のインクについて
	6	インクの種類	グラビア印刷とシルクスクリーン印刷、その他特殊のインクについて
	7	定型用紙の種類	塗工紙について
	8	定型用紙の種類	非塗工紙について
	9	特殊加工の種類	オフセット印刷、活版印刷、グラビア印刷について
	10	特殊加工の種類	シルクスクリーン印刷、凸版印刷と箔押しについて
	11	制作実習	Photoshopで課題制作
	12	制作実習	Photoshopで課題制作
	13	後期期末試験	
	14	後期振り返り	
	15		
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	企画プランニング演習Ⅱ		指導担当者名	増田淳子	
実務経験	デザイン制作会社社長 20年間以上の経歴を持っている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	112時間		週時間数	4時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状および実践に即した広告企画の立案</li> <li>・現状分析、マーケティング</li> <li>・広告の適正媒体の選択とビジュアルの決定</li> <li>・広告のコピーの検討</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の企画内容</li> <li>・表現等の完成度</li> <li>・企画のプレゼン能力</li> </ul>				
使用教材	広告の基本がわかる本、「これからの広告」の教科書、他				
授業外学習の方法	気になる広告の収集と蓄積、トレンドの吸収				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	授業内容説明	広告業界の現状等も事例により説明		
	2	企画立案のポイント、広告の歴史	①現在の広告戦略のあり方・ポイントについて、事例を元に解説。		
	3	企画立案のポイント、広告の歴史	②広告業界人としての基本知識として、広告と時代との密接な関連性を知っておく		
	4	広告の歴史(展覧会にて研修)	CCGA「ヘイセイ・グラフィックス展」見学(予定)～6/9		
	5	広告の歴史まとめ、前期課題	「伝統工芸品の新たな魅力発信のための企画立案」実際の企画事業(会津観光ビューロー)を題材とし、より現実に即した形で進める(グループ制作予定)		
	6	前期課題	伝統工芸品の現状説明、伝統工芸品関連の情報収集・分析など		
	7	前期課題	現在の暮らしに生きる工芸品のあり方を探る、コンセプトワーク		
	8	前期課題	企画・表現案検討		
	9	前期課題	企画具体案・表現物制作		
	10	前期課題	企画書制作		
	11	前期課題	プレゼン準備		
	12	課題プレゼン	課題プレゼンテーション、前期まとめ		
	13	課題講評			
	14	前期振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	企画プランニング演習Ⅱ		指導担当者名	増田 淳子	
実務経験	デザイン制作会社社長 20年間以上の経験を持っている			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	112時間		週時間数	4時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状および実践に即した広告企画の立案</li> <li>現状分析、マーケティング</li> <li>広告の適正媒体の選択とビジュアルの決定</li> <li>広告のコピーの検討</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の企画内容</li> <li>・表現等の完成度</li> <li>・企画のプレゼン能力</li> </ul>				
使用教材	MACPC 広告の基本がわかる本、「これからの広告」の教科書、他				
授業外学習の方法	気になる広告の収集と蓄積、トレンドの吸収				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	前期振り返り(復習)			
	2	企画制作管理、校正方法習得	①前期課題等を元に、依頼～企画～提案までのスケジュール管理、コミュニケーションポイント、プレゼン法等を再確認 ②校正方法習得		
	3	企画制作管理、校正方法習得	同上		
	4	企画提案書・プレゼンのポイント	効果的な企画提案書の見せ方・プレゼンの仕方を再度		
	5	後期課題	「公募による企画および表現物を制作する」(個人制作)。制作物検討・決定		
	6	後期課題	情報収集・分析、コンセプトワーク		
	7	後期課題	コンセプトの具体化、企画表現案出し		
	8	後期課題	案チェック、制作		
	9	後期課題	制作		
	10	後期課題	制作		
	11	後期課題	プレゼン準備		
	12	課題プレゼン	課題プレゼンテーション、2年間のまとめ		
	13	課題講評			
	14	後期振り返り			
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	グラフィックデザイン演習Ⅱ	指導担当者名	小濱 玲
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴		実務経験: 有
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン感性の向上、商業デザイン・実、的な流れを身につける。</li> <li>・効果的なデザインの企画・制作・プレゼン力を身につける。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の企画内容</li> <li>・表現等の完成度</li> <li>・企画のプレゼン能力</li> </ul>		
使用教材	MACPC、プリンタ、テキストは特になし		
授業外学習 の方法	気になる広告の収集と蓄積、トレンドの吸収		
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>
授業計画 前期	1	デザイン手法(対比)	1/概要 2/探してトレース→提出
	2	デザイン手法(対比)	対比の手法を使ったオリジナルデザインを作成
	3	デザイン手法(対比)	対比の手法を使ったオリジナルデザインを作成→提出
	4	デザイン手法(反復)	1/概要 2/探してトレース→提出
	5	デザイン手法(反復)	反復の手法を使ったオリジナルデザインを作成
	6	デザイン手法(反復)	反復の手法を使ったオリジナルデザインを作成→提出
	7	デザイン手法(裁落)①	1/概要 2/探してトレース→提出
	8	デザイン手法(裁落)①	裁落の手法を使ったオリジナルデザインを作成
	9	デザイン手法(裁落)①	裁落の手法を使ったオリジナルデザインを作成→提出
	10	デザイン手法(裁落)②	1/概要 2/探してトレース→提出
	11	デザイン手法(裁落)②	裁落の手法を使ったオリジナルデザインを作成
	12	デザイン手法(裁落)②	裁落の手法を使ったオリジナルデザインを作成→提出
	13	デザイン手法(裁落)③	1/概要 2/探してトレース→提出
	14	期末試験 作品添削、講評	オリジナルデザインを作成、合評
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	グラフィックデザイン演習Ⅱ		指導担当者名	小濱 玲	
実務経験	デザイン制作会社にてデザイン制作業務に4年間従事した経歴			実務経験:	有
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数	56時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン感性の向上、商業デザイン・実、的な流れを身につける。</li> <li>・効果的なデザインの企画・制作・プレゼン力を身につける。</li> </ul>				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の企画内容</li> <li>・表現等の完成度</li> <li>・企画のプレゼン能力</li> </ul>				
使用教材	MACPC、プリンタ、テキストは特になし				
授業外学習 の方法	気になる広告の収集と蓄積、トレンドの吸収				
<b>学期</b>	<b>ターム</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>		
授業 計画  後 期	1	学園祭制作物添削	オリジナルを作成→提出		
	2	デザイン手法(裁落)④	1/概要 2/探してトレース→提出		
	3	デザイン手法(裁落)④	裁落の手法を使ったオリジナルデザインを作成		
	4	デザイン手法(裁落)④	裁落の手法を使ったオリジナルデザインを作成→提出		
	5	デザイン手法(余白)	1/概要 2/探してトレース→提出		
	6	デザイン手法(余白)	余白の手法を使ったオリジナルデザインを作成		
	7	デザイン手法(余白)	余白の手法を使ったオリジナルデザインを作成→提出		
	8	デザイン手法(比較)	1/概要 2/探してトレース→提出		
	9	デザイン手法(比較)	比較の手法を使ったオリジナルデザインを作成		
	10	デザイン手法(比較)	比較の手法を使ったオリジナルデザインを作成→提出		
	11	期末課題制作①	学生の年間の制作状況を見ながら最終課題を決定する		
	12	期末課題制作②	制作 中間発表		
	13	期末課題制作3	制作 最終発表		
	14	年間授業 振り返り	1年間制作したものを振り返る。また、ポートフォリオに反映をしていく		
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

## 授業計画(シラバス)

科目名	ドローイングⅡ	指導担当者名	佐藤望
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な描写力、観察力の向上を目指す。</li> <li>・また、創意工夫する力も養い、今後の作品制作に活かせる姿勢を身につけさせる。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出(複数回)</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席</li> </ul>		
使用教材	水彩色鉛筆、アクリル絵の具、UVレジンなど		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にプリントを配布し、それぞれの画材、素材の特性を理解する事</li> <li>・授業使用画材と素材の準備とした処理の実施</li> </ul>		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画  前期	1	オリエンテーション	授業ルールの説明、画材の紹介
	2	雑貨制作①	ブラバン、UVレジン
	3	雑貨制作②	ブラバン、UVレジン
	4	色鉛筆①	色鉛筆の使い方の習得、描写力の向上(演習)
	5	色鉛筆②	色鉛筆の使い方の習得、描写力の向上(演習)
	6	色鉛筆③	色鉛筆の使い方の習得、描写力の向上(課題制作、講評)
	7	ネイルデザイン①	ネイルポリッシュ、ネイルチップ(素材理解、使用方法の教授)
	8	ネイルデザイン②	ネイルポリッシュ、ネイルチップ(実際使用にて習作の制作)
	9	ネイルデザイン③	ネイルポリッシュ、ネイルチップ(課題制作)
	10	ネイルデザイン④	ネイルポリッシュ、ネイルチップ(課題制作、講評)
	11	期末課題制作①	アクリル絵の具、スケッチブック(テーマ課題による制作①)
	12	期末課題制作②	アクリル絵の具、スケッチブック(テーマ課題による制作②)
	13	期末課題制作③	アクリル絵の具、スケッチブック(テーマ課題による制作③とプレゼン)
	14	前期振り返り	前期制作物の写真撮影とコメントの作成(今後ポートフォリオに載せていく)
	15		
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	ドローイングⅡ	指導担当者名	佐藤望
実務経験			実務経験:
開講時期	通年 前期・後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な描写力、観察力の向上を目指す。</li> <li>・また、創意工夫する力も養い、今後の作品制作に活かせる姿勢を身につけさせる。</li> </ul>		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出(複数回)</li> <li>・授業態度</li> <li>・出席</li> </ul>		
使用教材	水彩色鉛筆、アクリル絵の具、UVレジンなど		
授業外学習 の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にプリントを配布し、それぞれの画材、素材の特性を理解する事</li> <li>・授業使用画材と素材の準備とした処理の実施</li> </ul>		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	水彩絵の具(透明)①	描写力、創意工夫力の向上(画材特性の確認と習作制作)
	2	水彩絵の具(透明)②	描写力、創意工夫力の向上(画材特性の確認と絵手紙制作)
	3	水彩絵の具(透明)③	描写力、創意工夫力の向上(画材特性の確認と色の重なりを意識した作品制作)
	4	水彩絵の具(透明)④	描写力、創意工夫力の向上(課題発表、課題制作)
	5	水彩絵の具(透明)⑤	描写力、創意工夫力の向上(課題制作、講評)
	6	アクリル絵の具①	描写力、創意工夫力の向上(画材特性の確認と習作制作)
	7	アクリル絵の具②	描写力、創意工夫力の向上(画材特性の確認とロゴタイプ制作)
	8	アクリル絵の具③	描写力、創意工夫力の向上(画材特性の確認と絵画表現を意識した作品制作)
	9	アクリル絵の具④	描写力、創意工夫力の向上(課題発表、課題制作)
	10	アクリル絵の具⑤	描写力、創意工夫力の向上(課題制作、講評)
	11	期末課題①	色画用紙、ボンド、スチレンボード(画材特性の確認と習作制作)
	12	期末課題②	色画用紙、ボンド、スチレンボード(課題発表、課題制作)
	13	期末課題③	色画用紙、ボンド、スチレンボード(課題制作、講評)
	14	後期振り返り	後期制作物の写真撮影とコメントの作成(今後ポートフォリオに載せていく)
	15		
	16		
<b>履修上の留意点</b> 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

## 授業計画(シラバス)

科目名	国際デザイン研究	指導担当者名	山田直美	
実務経験			実務経験:	
開講時期	後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科2年生	
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:	
時間数	48時間	週時間数	7日間/48時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外文化に触れ日本の文化と共にそれを尊重できる事、また、海外文化を楽しむ事が出来る事</li> <li>・学校で学んだ知識と技術を海外イベントに参加発信とアピールが出来る事</li> <li>・海外での業界事情を視察研修し、日本国内と比較してレポートにまとめる事</li> <li>・集団行動の徹底が出来る、また多くの国の人々が集まる場所で節度ある行動が出来る様になる事</li> </ul>			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備の徹底</li> <li>・集団行動の場面での時間管理が出来たか</li> <li>・研修先で積極的に自ら行動が出来たか</li> <li>・国際デザイン研究のまとめレポート提出と内容</li> </ul>			
使用教材	PC、筆記用具、カメラ、その他			
授業外学習の方法	事前準備(パスポート取得や旅行用品準備など)の徹底と、事後のレポート制作の為のまとめ			
<b>学期</b>	<b>ターム (日)</b>	<b>項目</b>	<b>内容・準備資料等</b>	
授業計画 後期	1	出発~入国	成田空港利用、国際線でのマナー徹底 国外への出入国手続き、海外入国後ホテル宿泊	
	2	海外滞在1日目: イベント準備など	海外イベント参加に向けた出展準備 その後、自由行動と集団での国内研修	
	3	滞在2~4日目: A,B,C班に分かれて行動	A: イベント出展当番~国内集団研修~自由行動	
	4	*A~C班に分かれ	B: 国内集団研修~自由行動~イベント出展当番	
	5	3つの旅程をローテーションする	C: 自由行動~イベント出展当番~国内集団研修	
	6	滞在5日目(最終日)	全員でイベント出展の後片付け、その後集団での国内研修	
	7	帰国~到着	現地空港から成田に到着後、学校へ戻りその後解散 成田空港利用、国際線でのマナー徹底、日本帰国手続き	
	履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際デザイン研究に何らかの理由で不参加の場合には認定試験を受験することとする。</li> <li>・また、国際デザイン研究行程期間も学校へ登校し、それぞれ決められた課題の作成と提出を義務づける。</li> <li>・参加者については国際デザイン研究終了後、決められた期間までにレポートを提出する事</li> </ul>				

## 授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	学科担任名	
実務経験			実務経験:	
開講時期	後期	対象学科学年	グラフィックデザイン科2年生	
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:	
時間数	180時間	週時間数	6週/180時間	
学習到達目標	・卒業生:2, 3年間の集大成として学んだことを発揮する			
評価方法 評価基準	・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で卒業生としての集大成となる作品制作をすること また、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること 評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」			
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事			
授業外学習の方法	制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事			
学期	ターム (週)	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる	
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく	
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても 可視化していく	
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施 学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く ・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など	
	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、 また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作	
	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施 ・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応 *学科内シフトにより登校 展示終了後は撤収と作品保管をする	
	履修上の留意点			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率が80%に満たない場合は、プレゼンテーション機会を与えない</li> <li>・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンテーションを実施 そこで一定の評価があれば合格とする</li> <li>・再プレゼンテーションで不合格の場合認定となる</li> </ul>				